

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 90 3月号

2013年3月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL(0791)62-0469

新宮図書館 TEL(0791)75-3332

揖保川図書館 TEL(0791)72-7666

御津図書館 TEL(079)322-1007

URL <http://tatsulib.city.tatsuno.hyogo.jp/>



携帯専用サイトへは、
左のQRコードから
(URL:<http://tatsulib.city.tatsuno.hyogo.jp/m/>)

読書と私 No.82

「脳の不思議」

御津町 野間 孝造

妻は失語症もある身体障害者である。その妻が新年早々、新聞のテレビ欄を見て、前年の日記帳のページを繰り始めた。「癒やす」とある送り仮名に疑問を持ったからだ。

11月某日の日記は「癒す」で手持ちの辞書(三省堂)と同じだった。そこで安易に、「新聞が間違っている」と妻の質問に答えた。

「婦人公論」(中央公論新社)2013年1月22日号掲載の「うつ病そして結婚報告 丸岡いずみ元キャスター」では、「私の心と体は癒やされました」とあった。今度は携帯電話の漢字機能で調べたところ、卑怯なのか賢明なのか、選択をさせている。そこで図書館の辞書に頼った。

「癒やす」は『日本語大辞典』(講談社)・『大辞泉』(小学館)、「癒す」は『大辞林』『辞林』(三省堂)・『広辞苑』(岩波書店)だった。何のことはない、「いずれも正しい」との結論に達した。

失語症の特徴で平仮名を思い出すのに苦戦している妻だが、家族の誰もが書けない漢字を覚えていたりする記憶力には感服している。多くの者が見過ごしたであろう、「脳の不思議」を思う。

図書館へ向けさせた妻のおかげで、知識がまたひとつ増えた。

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

いやす【癒やす】(五他) 病氣・苦痛・うえなどを、なおす。[用例] 湯をいやす。

いやす【癒す】(動+五[四]) ①病氣や傷などをなおす。体を健全な状態にする。「温泉で傷をいす」②悲しみや苦痛をなくす。「恋の痛手をいす」「かわきをいす」

同 癒いやす

『大辞林』より抜粋

『日本語大辞典』より抜粋

『お待ちになって、元帥閣下 自伝笹本恒子の97年』 笹本 恒子著 毎日新聞社



日本で最初の女性報道写真家・笹本恒子は大正3年生まれ、平成22年には96歳で個展を開いた。戦前・戦中・戦後を生き抜いた著者が、その波乱万丈の日々を綴った自伝。

産まれてまず父親に「なあんだ、女か」と言われた時代。絵描きになりたいと希望していたが、男性に負けまいと荒々しいタッチで油絵を描いていた頃を経て、写真協会の林謙一に出会い、女性の視点で写真を撮ってみてはどうかと言われ、その世界に飛び込む。時にはハイヒールの踵を折り、被写体が入りきらないからと地面に腹ばいになってコートを埃まみれにさせ、脚立に登っては「天皇陛下の前で」と巡査に追いかける日々。男性記者に「はりきりお嬢さん」と呼ばれ、その心臓の強さで一目置かれて

ゆく。支えてくれた母の死や、兄からの反対を受け、一度は退社し結婚するが、戦後、佐多稲子らに参加する女性だけの新聞のカメラマンとして復帰する。

「お待ちになって、元帥閣下」は、フラッシュがうまく光らず慌てながらも躊躇してはいられないと出た言葉。まず夫人が微笑み、元帥の視線もカメラを向いている他社とは違う写真が撮れた。三池争議、安保デモ等の報道写真の他、作家や宮中の方々がふと見せた日常の素顔も多々カメラに収めた。

「何をするにも年齢は関係ありません。」と著者は言う。何事も言い訳にせず、人の縁に感謝しながら、カメラで時代を切り取っていく颯爽とした姿と優しい眼差しが、巻頭の写真の数々からも浮かび上がってくるようである。

(新宮図書館 梅村)

トピックス

ご存じですか？ インターネット予約

図書館の資料は、インターネットから簡単に予約することができます。

図書館ホームページの蔵書検索で、ご希望の資料を検索してから予約してください。

現在借りている本や予約状況の確認もできます。(携帯電話ではできません)

※初回のみ図書館カウンターでのパスワードの設定が必要ですので、貸出券持参の上、ご来館ください。 詳しい利用案内もお渡しします。

図書館ホームページへはこちらから↓

○パソコン、スマートフォン

<http://tatsulib.city.tatsuno.hyogo.jp/>

○携帯電話

<http://tatsulib.city.tatsuno.hyogo.jp/m/>



携帯電話用
QRコード



たつの市立図書館ホームページ

おすすめする子どもの本・84

『ペレのあたらしいふく』 エルサ・ベスコフ作 福音館書店

ペレは、子羊を1匹持っていました。子羊は育ち、毛はどんどん長くなりました。ペレは大きくなりましたが、ペレの上着はだんだん短くなるばかりでした。ペレは、子羊の毛を刈り取り、畑の草取りをするかわりに、おばあさんに毛を糸に紡いでもらいました。次にペンキ屋のおじさんの手伝いをして、青い染め粉を買い、糸を自分で染めました。染めた青い糸は、お母さんのお手伝いをして、きれいを織ってもらいました。仕立て屋のおじさんの所へ行き、干し草を集め、薪を運び、豚の世話をする代わりに、服を仕立ててもらいました。

ペレは、新しく仕立てられた服を着て、子

羊にお礼を言いました。

ペレが、さまざまな仕事を経験しながら、たくさんの人々の協力を得て、自ら育てた子羊の毛から、1枚の新しい上着が出来上がるまでの様子が、丁寧に描かれています。

温かい色彩で描かれた挿絵が、スウェーデンの美しく素朴な田園風景や人々の生活の様子を細やかに伝え、淡々と進むストーリーを引き立てています。読んであげるなら4歳くらいから。
(御津図書館 河部)

『ルーシーのぼうけん』

キャサリン・ストーア作 山本まつよ訳 子ども文庫の会

三姉妹の末っ子で7才のルーシーは、女の子らしい姉さん達と違って男の子になりたがっていました。ズボンをはき、短髪にして、男の子たちと遊びたくて、仲間に入れてと男の子たちに頼みますが断られます。

コンラッドに泥棒を捕まえてきたら仲間に入れてやると言われ、探偵になってすごい事件を見つけようと思しますが、窓ふきの人を泥棒と間違えたり、子守の人を人さらいと間違えてしまいます。

ある日、隣の庭に落とした矢を取りに行こうと高い塀に上がると、本当の泥棒が現れます。ルーシーは、どうしようと悩んだ末、盗んだ荷物を運ぶ車に潜り込みます。長い間、車に揺られていたルーシーは泥棒に見つかる怖さから叫んでしまいそうになりますが、「あたし、たんていだ！あたしは男の子だ！」と言って息をひそめて隠れ、泥棒の隠れ家をつきとめます。

そして、決め手となるナンバープレートと人相を覚え、隠れ家からなんとか逃げ出し警察に助けてもらいます。

知恵と勇気で立ち向かい、念願のコンラッドたちの仲間になり、一目置かれる存在となったルーシーの晴れやかな達成感が伝わってきます。2年生くらいから。

(新宮図書館 上田)



各館の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

館名	行事	対象(上段) ・ 時間(下段)	3月の予定
龍野図書館 TEL(0791) 62-0469	●えほんのじかん	0～3歳児、保護者 ----- 第2・第3土曜日(11時～11時20分)	9日・16日 『きゅつきゅつきゅつ』他
	●子どもの本を読む会	一般 ----- 第4木曜日(10時～11時30分)	28日 『少年動物誌』河合 雅雄 著
	読書会	一般 ----- 第2金曜日(10時～11時30分)	8日 林芙美子紀行集『下駄で歩いた巴里』 立松 和平 編
新宮図書館 TEL(0791) 75-3332	●えほんのじかん	2～4歳児、保護者 ----- 第2・第4月曜日(11時～11時20分)	11日・25日 『おでかけくまさん』他
	■おはなしのじかん	5歳児～ ----- 土曜日(11時～11時30分)	2日・9日・16日・23日・30日 「ホレばあさん」他
揖保川図書館 TEL(0791) 72-7666	●えほんのじかん	3～5歳児、保護者 ----- 第2・第3土曜日(10時30分～10時50分)	9日・16日 『三びきのやぎのがらがらどん』他
	■おはなしのじかん	小学生以上 ----- 第2・第3土曜日(11時～11時30分)	9日・16日 「おいしいおかゆ」他
	読書会	一般 ----- 第3水曜日(10時～12時)	20日 『シズコさん』佐野 洋子 著
御津図書館 TEL(079) 322-1007	●えほんのじかん	0歳児～、保護者 ----- 第2・第3日曜日(11時～11時20分)	10日・17日 『みんなのこもりうた』他
	読書会	一般 ----- 第1火曜日(13時30分～15時30分)	5日 『つるかめ助産院』小川 糸 著